

# 伐採作業手順説明

2013.7.6(土) ふれあいの森 森づくりイベント

間伐作業体験(間伐4班)

## 1. 伐採目的

間伐: ある程度成長した樹木の間引き (除伐: 目的木種以外の樹木、形質の悪い樹木の間引き)

## 2. 伐採方法

ボランティア流: 手鋸、ロープ、滑車等を使用してチームワークで作業します。(安全最優先)

## 3. 作業手順

### (1)事前準備

#### ①伐木選び、伐倒方向決め

1. 胸高(約1.2m)直径10~20cmの木を選ぶ
2. 木の重心を確認、掛かり木にならない方向を決める(傾斜面の場合: 横又は斜め下方が安全)

#### ②安全確認

- ・ヘルメット、長袖上着、長ズボン、手袋、安全靴
- ・倒木の上方、周囲、前方、足元、退避方向・場所
- ・倒木に絡んでいるツル切り、伐木周辺の下刈り

### (2)伐木へのロープ縛結、ロープ張り

- ①約6mの高さの幹にロープを架けて縛りつける
  1. 細紐(スローライン)を重り(ショットハウチ)を使って倒木の枝に掛ける。
  2. 手繋り寄せてロープだけが枝に掛かった状態にする
  3. ロープを引き解け結びにして引き上げ幹に縛結する

- ②滑車(スナッチ)を利用して ロープを立ち木経由で張る  
: 伐倒方向を制御する、引く力を軽減する

### (3)切り口の設定

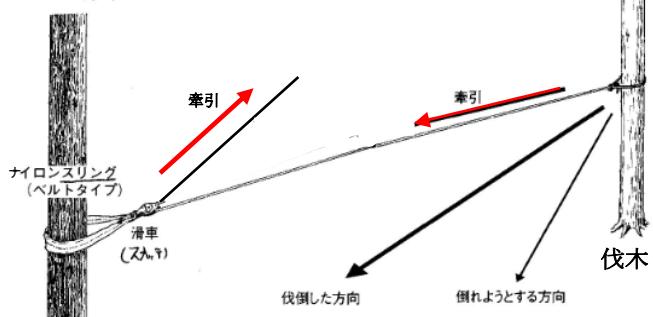
- ①チョークを使い切り口に線引きする(受け口、追い口)
- ②受け口作り: 伐倒方向の確実化と伐木の引き裂け防止
  1. 下切り: 水平に切る(深さ1/4~1/3)
  2. 斜め切り: 下切りに対して30~45度の角度で切る  
会合線: 下切りと斜め切りの接点が合っていること!  
(合っていないと支点が移動し想定外の方向に倒れる)
- ③ 追い口切り: 受け口で決めた方向に木を倒すための前作業
  1. 高さ: 受け口高さの2/3
  2. 深さ: 会合線の手前、根株直径1/10の幅を残すまで切る。(残した部分が倒す時ツル(弦)になる)  
ツル: 蝶つがいの働きをする(決めた方向に徐々に倒す)

- ### (4)伐倒: 木を倒すきっかけ作りはロープの引き手(切り手ではない)
1. 切り手の合図に従い、引き手はロープを引いて木を倒す
  2. 倒れ始めたら引きを止め自然に倒れるのにまかせる。  
(掛け木になりかけた場合は腰を落として力一杯引っ張る)

### (5)伐倒終了後作業

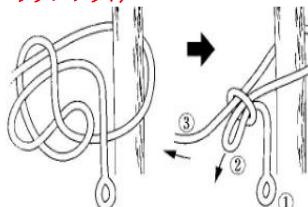
- ①ロープ等の片づけ ②倒木の枝払い ③玉切り、搬出

滑車とロープを使った伐倒コントロール  
(スナッチ)

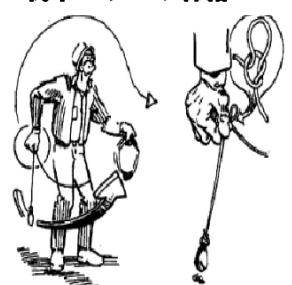


●引き解け結び

(スリップノット)



伐木へのロープ縛結



簡単にはずせる便利な結び方。

- ・(1)の結び輪(アイ)と輪の長さは15cm~20cm
- ・(2)の輪を引くと閉まる。
- ・(3)各木の上方に上げてから、引くとしっかりと固定

